

RPH pH処理装置 シリーズ

■特長

土木建築現場や生コンクリート工場より排出される強アルカリ排水等の原水を、硫酸等の薬液によりPID自動制御で連続中和処理。硫酸の注入量の調整が不要で、硫酸の使用量も少なくすみます。従来品に比べて非常にコンパクト化されていますので、狭い場所での設置が可能で、ユニット化されているため、据付・移動も簡単にできます。

部品点数を少なくした設計によりメンテナンスも容易で、希硫酸・炭酸ガス併用による中和処理が行える機種もあります。また、下記形式以外に、ON-OFF制御を採用し経済性を重視した簡易形機種を製作しております。

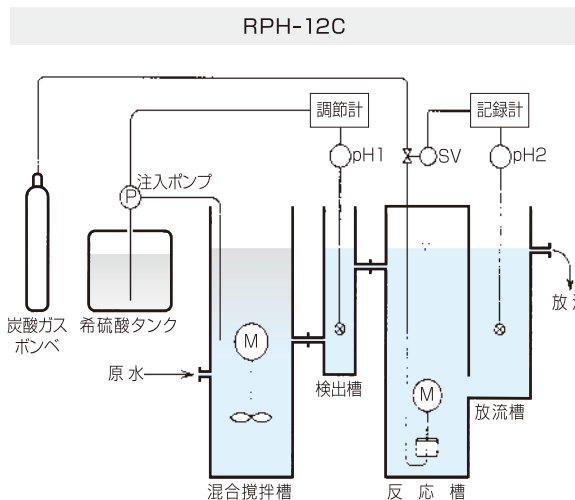
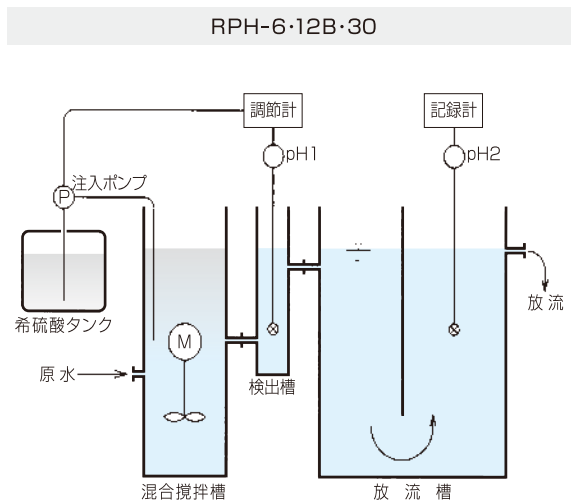


■用途

土木建築工事で発生する排水処理。
生コンクリートプラントでの排水処理。
その他、各種工事現場からの排水処理。

■フロー図

原水が混合攪拌槽に流入し検出槽に入ると電極がpH値を検知し、信号を調節計に送ります。調節計は設定された目標値と検出した値を比較・計算し、注入ポンプに駆動信号を送り、pH値が目標値になるよう注入ポンプの吐出量を制御し、希硫酸を混合攪拌槽に注入します。記録計は、放流槽内のpH値を記録紙に連続記録します。



■仕様

形式	処理量 m ³ /h	原水入口	処理水出口	処理方法	希硫酸タンク ℓ	電圧 V	質量 kg
RPH-6A	6 (Max. pH12)	JIS5K・40A フランジ	JIS10K・80A フランジ	希硫酸による 中和	100 (PE製)	三相200	780
RPH-12B	12 (Max. pH12)	JIS5K・50A フランジ	JIS10K・100A フランジ	希硫酸による 中和	200 (PE製)	三相200	850
RPH-12C	12 (Max. pH12)	JIS5K・50A フランジ	JIS10K・100A フランジ	希硫酸・炭酸ガス 併用による中和	200 (PE製)	三相200	870
RPH-30	30 (Max. pH12)	JIS5K・80A フランジ	JIS10K・150A フランジ	希硫酸による 中和	500 (PVC製)	三相200	950